



2022年7月22日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 第 3 4 回 定 期 中 央 本 部 大 会

安全を基礎に総団結で未来を切り拓こう!

J R 西 労 組 は 7 月 13 日 ~ 14 日、京 都 府 宮 津 市 に お い て、第 34 回 定 期 中 央 本 部 大 会 を 開 催 し た。昨 年 同 様、感 染 症 対 策 に 万 全 を 期 し、代 議 員 ら 約 200 名 出 席 の も と、2022 年 度 の 運 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。J R 連 合 か ら は、荻 山 市 朗 会 長 と 宮 野 勇 馬 企 画 局 長 が 参 加 し、廣 岡 和 晃 連 合 京 都 会 長、西 脇 隆 俊 京 都 府 知 事、J R 西 労 組 議 員 団 会 議 所 属 議 員 な ど 約 30 名 が 来 賓 と し て 駆 け つ け た。傍 聴 者 は オ ン ラ イ ン で 大 会 に 参 加 し た。



廣岡連合京都会長

西脇京都府知事

大 会 冒 頭、主 催 者 挨拶 に 立 っ た 上 村 良 成 中 央 執 行 委 員 長 (J R 連 合 副 会 長) は、各 種 選 挙 に お け る 取 り 組 み の お 礼 と、コ ロ ナ 禍 に お い て も 職 責 を 果 た し 続 け る 組 合 員 に 敬 意 と 感 謝 を 述 べ た 後、安 全、社 会 変 容 へ の 対 応、持 続 可 能 な 公 共 交 通 の 実 現 と 政 治 へ の 関 わ り な ど に つ い て 提 起 し た。



ま た、来 賓 挨拶 に 立 っ た 荻 山 会 長 は、J R 連 合 結 成 30 年 と な る 本 年、鉄 道 の 可 能 性 を 更 に 訴 え る 提 言 を 策 定 す る こ の 必 要 性 や、人 へ の 投 資 の 重 要 性、組 織 の 強 化 ・ 拡 大 に つ い て 訴 え た。

大 会 中、第 26 回 参 議 院 議 員 選 挙 に 立 候 補 し、J R 連 合 と し て 重 点 推 薦 候 補 者 に 決 定 し て い た 比 例 区 候 補 3 名 (竹 詰 仁 氏、川 合 孝 典 氏、柴 慎 一 氏) と 三 日 月 大 造 滋 賀 県 知 事 か ら ビ デ オ メ ャ ー ジ 等 で 当 選 の 御 礼 が 述 べ ら れ た。さ ら に、2 日 目 の 議 事 再 開 前 に は J R 西 日 本 の 長 谷 川 一 明 社 長 も 来 場 し、「こ の 間 の 労 苦 に 感 謝 申 し 上 げ る。今 夏 は 黒 字 化 に 向 け て の 正 念 場 で あり、一 層 の 尽 力 を お 願 い し た い」と 述 べ た。

議 事 で は、執 行 部 よ り 2022 年 度 の 運 動 方 針 等 が 提 起 さ れ、本 会 議 15 名 に 加 え、J R 西 労 組 を 特 徴 づ け る 各 小 委 員 会 (組 織 ・ 財 政 小 委 員 会 28 名、業 務 小 委 員 会 30 名) に お い て も 熱 い 質 疑 を 受 け た。安 全 の 確 立 や 冬 季 賞 与、地 方 機 関 の 見 直 し に 関 す る 業 務 課 題、地 方 公 共 交 通 の あり 方 と 政 治 の 関 わ り、コ ロ ナ 禍 で の 運 動 展 開 な ど に つ い て 意 見 が 出 さ れ、羽 野 敦 之 書 記 長 (J R 連 合 執 行 委 員) の 総 括 答 弁 の 後、す べ て の 議 案 が 満 場 一 致 で 可 決 さ れ た。最 後 に、上 村 委 員 長 の 「団 結 ガ ン バ ロ ー」 で 難 局 に 打 ち 勝 つ 誓 い を 新 た に し た。

